

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月24日更新

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部 教育委員会事務局教育部
	施策	22	生涯スポーツの推進		担当者名 岐部 則夫
	施策の柱	71	スポーツへの参加機会の提供		所属課 生涯学習課
所属班			所属班	スポーツ振興班	担当若者名 坂本 幸
予算科目	会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10773
根拠法令			スポーツ基本法		成果優先度評価結果 ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	コスト削減優先度評価結果 ②

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	サッカー・バドミントン・ヨガ・アクアビクス・陸上・バレーボール・剣道・ズンバ等のスポーツ体験教室を実施し、スポーツを体験する場を提供した。市民のスポーツへの意欲を喚起、スポーツ未実施者の掘起こしときっかけ作り、スポーツの日常化を目的としたスポーツ体験教室として開始された。平成27年度も前・後期27教室、参加者414名となった。開催種目も参加者のニーズに沿ったものを用意し、老若男女問わず参加できるように工夫をしている。このうち、協会があるサッカー・卓球・ミニバレー・剣道・バドミントン・バレーなどは、体育協会の加盟団体であるため、体育協会の事業として平成25年度より行っている。平成27年度からは総合型地域スポーツクラブの体験教室(トランポリン・産後ヨガ等)も同時開催している。
【業務の流れ】	・各講師と事業内容協議、施設利用申請、募集冊子作成、申込受付、受講生決定・通知、開講式、受講料徴収・収納、閉講式、報償費・委託料支払事務
【主な予算費目】	・時間外勤務手当、報償費、消耗品費、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	・住民からは感謝の言葉をいただくことがある。 ・教室によっては募集人員に制限があるものがあり、抽選にもれた人からの苦情もある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・前期(5月~9月)は11種目・13教室に156人が参加、後期(10月~12月)は14種目・14室に258人が参加した。 ・前期ではシェイプアップダンス教室等の新しい教室を導入した。後期は護身術やバレエ教室などの新教室をじっしし、参加希望者も増えており、抽選で受講できない人も増えている。	・人気がある教室の実施と、新しい教室を入れていく予定。体育協会加盟の種目協会主導の教室や総合型地域スポーツクラブ主催の教室も充実させる。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア:参加者数	人	・総合型地域スポーツクラブが教室開催する際の委託料の減。
イ:開催教室数	教室	・育児休暇代替事務補助員の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		(単位)
		ア:市民
		イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
さまざまなスポーツを体験する		(単位)
		ア:参加者数
		イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市民一人、1スポーツを目指し、できるだけ多くの市民に参加してもらうため。目標値は前年度までの実績を踏まえ設定。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア 人	655	747	750	414	750	750	750	750
	イ 教室	33	44	40	27	40	40	40	40
②対象指標	ア 人	58,237	59,067	59,500	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
	イ:								
③成果指標	ア 人	505	614	800	414	800	800	800	800
	イ:								
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	1,224	641	530	564	1,075	1,180	1,180
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,630	1,213	2,124	1,855	988	1,500	1,500
	(A)事業費計	千円	2,854	1,854	2,654	2,419	2,063	2,680	2,680
	(A)のうち指定経費	千円	781	565	732	685	699	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	781	565	732	685	699	837	837
	正規職員従事人数	人	5	0	5	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	505	0	123	185	120	120	120	
(B)人件費計	千円	2,011	0	490	686	478	478	478	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,865	1,854	3,144	3,105	2,541	3,158	3,158	

事務事業名	スポーツ体験教室開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 目標値を高く設定し、予算の範囲内で目標値までの募集ができなかった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 前年度から体育協会へも協力を要請し、教室数を増加させており、目標達成の見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 予算、場所、講師の問題がクリアされればさらに向上する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 総合型地域スポーツクラブや、各競技種目協会との連携の拡大により、成果の向上が期待できる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在も講師謝金は低額に抑えており、削減余地は無い。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各種目協会との連携により効率的に行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 参加者に2千円の負担をお願いしている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民がスポーツに親しむためのきっかけづくりの事業であるため、行政・体育協会等のスポーツ団体が連携して行うべきである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

教室開催には会場確保が必要であるが、定期的に空いている会場が少ない。
 体験教室であるが、低料金で受講できるために同じ人が同じ教室に何度も参加するリピーターが増加している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>リピーター参加者の抑制、および参加未経験者の注目を集めるような企画が必要である。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						